

# 液体用高機能容器に関するJISが制定!

液体用高機能容器  
JIS Z 1717:2016

なぜ  
**JIS**  
なのか?

液体内容物の  
鮮度を保持する  
容器の客観的な評価  
基準が必要

十分な機能を  
満たさない容器との  
区別が必要

品質、  
評価方法  
を制定!

**試験方法**

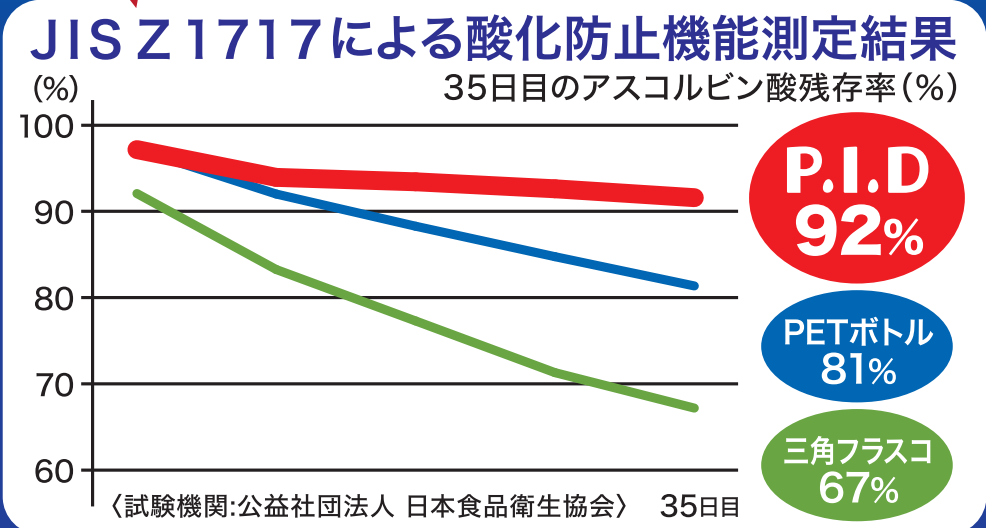
- 対象容器に酸化しやすい「アスコルビン酸水溶液」を充填。
- 徐々に注ぎ出す操作を繰り返し、35日後のアスコルビン酸の残存率(%)で酸化防止性能を評価します。
- 測定には「高速液体クロマトグラフ」を用います。



**P.I.D**は適合第1号。業界  
トップクラス! 35日目の  
アスコルビン酸  
残存率 **92%**  
【本試験方法によるデータ】



逆止機能を持つ注出口 PID容器



容器への表示例

この容器は  
JIS Q 1000に基づき  
液体用高機能容器  
JIS に適合しています!  
35日目  
アスコルビン酸  
残存率 **92%**  
JIS Z 1717:2016



本社 〒955-0002 新潟県三条市柳川新田964番地  
TEL:0256-39-7007 FAX:0256-39-7008  
U R L <http://www.dangan-v.com>

東京支店 〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目8-9  
木挽館銀座ビル7階  
TEL:03-6228-6408 FAX:03-6228-6409